



生涯学習センター図書コーナーだより

Vol.10 2026. Sep.

鳥栖市教育委員会生涯学習課 (TEL0942-85-3694)

M O O N & B O O K S



9月の本棚

もう9月というのになかなか涼しくなりません。こういう時は無理をせずお部屋で読書。9月は「白露」、「秋分」、「十五夜」と暦の上では秋が近づいてきています。ところで、今年の「十五夜(中秋の名月)」は9月25日だそうです。月の光は幻想的で何かしら人を引き付けますよね。月といえば、「Moon River」という歌があります。1961年に映画化され、アカデミー賞5部門にノミネートされた名作!「ティファニーで朝食を」の中で、オーディリー・ヘプバーンが窓辺に座って、この歌をしっかりと歌うシーンはとても有名です。月光に輝くしんとした夜の川、その川面に浮かぶ大きな月は、きっと掴むことができるという夢を抱かせます。今月は月をキーワードに本を選んでみました。

- 「ティファニーで朝食を(トルーマン・カポーティ 著)」 ニューヨークのアパートに住む自由奔放な女性ホリーと、同じアパートに越してきた駆け出し作家ポールの出会いと恋。恋愛小説でありながら、孤独や自己肯定をテーマにしたドラマ性も高い作品。(小説の中で特に月が出てくる場面はありませんが、映画版の中で歌(Moon River)が出てくる(先述)ので選びました。)
- 「『ロング・グッドバイ』『さよなら、愛しい人』(レイモンド・チャンドラー 著)」 レイモンド・チャンドラーが描くハードボイルド小説(フィリップ・マーロウ・シリーズ)では、LAの街を照らす「夜の月」や「月光」が、孤独な探偵の心情や都会の退廃的な雰囲気を際立たせる背景として象徴的に何度も描写されます。
- 「黒い瞳のブロンド(ベンジャミン・ブラック 著)」 この作品は、ブッカー賞作家のジョン・バンヴィル(ベンジャミン・ブラック名義)が執筆した『ロング・グッドバイ』の公式続編です。物語の早い段階で、夜空の描写として次のようなフレーズが登場します。「泥のような青い暗闇の塊に巻き込まれるようにして、鎌のような三日月が地平線低くに懸かっていた。」ここで使われている「鎌のような月」という鋭い表現は、これからマーロウが巻き込まれる不穏な事件や、都会の冷ややかな危険性を予感させる完璧なハードボイルドの背景となっています。
- 「空き家の冒険〜シャーロック・ホームズの帰還より(アーサー・コナン・ドイル 著)」 ミステリーとしての最大の見どころである「ホームズの奇跡の生還」と「犯人逮捕の罠」のどちらにも、月明かりが決定的な役割を果たしています。

※ [Baker Street Irregulars' Information](#)

セバスチャン・モラン大佐: シャーロック・ホームズの宿敵であるジェームズ・モリアーティ教授の右腕であり、ホームズから「ロンドンで2番目に危険な男」と称されています。性格は冷酷で、ギャンブルを好みます。軍を去った後はモリアーティ教授にスカウトされ、高額な給料と引き換えに暗殺者(スナイパー)として暗躍するようになりました。初登場は、ホームズの復活劇を描いた短編『空き家の冒険』です。モラン大佐は、ホームズの相棒であるジョン・H・ワトソン博士の「反転(ダークミラー)」として描かれているキャラクターです。モラン大佐が直接事件に関与するのは『空き家の冒険』ですが、その後の作品(『恐怖の谷』や『三人ガリデブ〜シャーロック・ホームズの事件簿より』)でもホームズやワトソンの口から名前がたびたび語られます。

※Baker Street Irregulars(ベーカー街遊撃隊)

ストリートチルドレン達の集まりで、シャーロック・ホームズの協力者達 シャーロック曰く「スコットランドヤード(警官)より役に立つ。」